

インフルエンザのお薬と過ごし方について

インフルエンザ流行の季節になりました。

しろくまこどもクリニックでの治療薬のお話と、ご家庭での過ごし方についてお伝えします。

1. しろくまこどもクリニックで使用する抗インフルエンザ薬

しろくまこどもクリニックでは、主に「1回飲めば治療が完了する抗ウイルス薬」を処方しています。

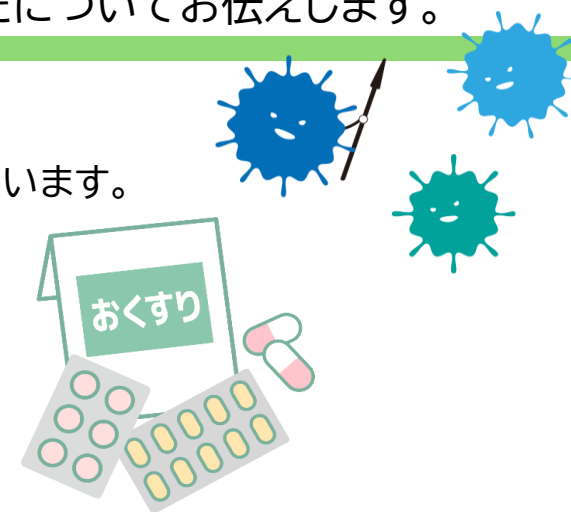
何度も飲む必要がないため、小さなお子さんでも無理なく使用できます。

2. お薬の効果とメリット

発熱の期間を短縮：抗ウイルス薬を使うと、発熱期間が1日ほど短くなると言われています。

重症化の予防効果について：残念ながら「重症化を確実に防ぐ」という明確なデータはありません。

小さなお子さん・赤ちゃんへのメリット：熱が早く下がれば、そのぶん早くミルクやごはんが食べられるようになり、体力回復につながります。



3. インフルエンザ予防内服(自由診療)

受験生のお子さんなど、大切な時期を控えている場合は予防的な内服も可能です。

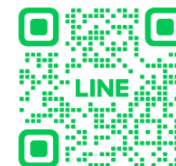
(※保険適用外の自由診療となります)。ご希望の際は、かかりつけの小児科医へご相談ください。

4. 一番大切なのは「ゆっくり休むこと」

実は、インフルエンザは抗ウイルス薬を使わなくても、ほとんどのお子さんがご自身の免疫力で自然に治る病気です。

お薬はサポートのひとつ。基本は、あたたかくしてゆっくり休んで養生しましょう！！



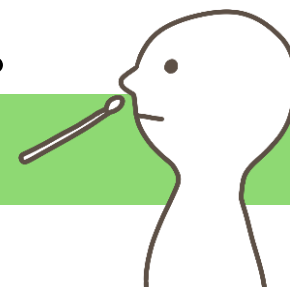


インフルエンザの検査は、ウイルスの一部を検出する「抗原検査」が主流です。
検査を受ける際は、以下のポイントをご確認ください。

検査の最適なタイミング

『**高熱**』が出てからから**24時間経過後** が最適なタイミングです。

熱が出始めてすぐ(24時間以内)に検査をすると、感染していても「陰性」と出てしまう確率が高くなります。



市販の検査キットについて

しろくまこどもクリニックでは、ご自宅などで使用された**市販の検査キット**で
陽性が出た場合も「**陽 性**」として対応いたします。

※ただし、対応は医療機関によって異なりますので、他院を受診される場合は事前にご確認ください。

5歳未満のお子さんの場合

5歳未満のお子さんは、より感度が高い「PCR法」や「LAMP法」
といった検査も保険適用となります。

